



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社
 コード番号 3766 URL <http://www.sdcj.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 隈元 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岡本 芳明

TEL 03-5300-7800

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,990	6.9	334		318		240	
2019年3月期第2四半期	4,284	15.5	66		76		20	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 241百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 11百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	68.67	
2019年3月期第2四半期	5.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	5,589	3,626	64.9	1,037.21
2019年3月期	5,910	3,913	66.2	1,119.39

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,626百万円 2019年3月期 3,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		13.00	13.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,092	10.9	385		368		295		84.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,940,000 株	2019年3月期	3,940,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	443,485 株	2019年3月期	443,485 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,496,515 株	2019年3月期2Q	3,496,575 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さがみられるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、金融緩和や各種経済政策を背景として、緩やかながら景気回復基調で推移しました。一方、米中貿易摩擦による中国経済の減速に加え、消費税増税に伴う消費動向への影響等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス分野においては、働き方改革や人手不足の解消に向けた生産性向上への取り組み、セキュリティ対策への意識の高まりから、企業のIT投資は堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループは、継続案件や新規案件の受注確保、人材育成及び採用活動への投資などに注力しました。また、RPA業務など新技術・新サービスへの取り組みを強化してまいりました。一方で、システム開発事業にて不採算案件の収束を図るために一時的な損失を計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,990,407千円（前年同期比6.9%減）、営業損失は△334,005千円（前年同期は66,444千円の営業利益）、経常損失は△318,224千円（前年同期は76,883千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は△240,117千円（前年同期は20,494千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

ステークホルダーの皆様にご心配をおかけすることとなりまして、心よりお詫び申し上げます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① システム開発事業

システム開発事業につきましては、不採算案件の収束を図るために受注損失引当金を追加計上しました。また、当該開発案件の収束に向けて注力したため、人員の十分な確保ができず、案件の受注が伸び悩みました。前年度に子会社が連結範囲から外れたことによる影響もありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,050,036千円（前年同期比18.8%減）、営業損失は△310,603千円（前年同期は68,633千円の営業利益）となりました。

② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、消費税増税に伴う主要顧客からの受注が順調に推移しました。また、前年度に連結範囲に加えた子会社の業績の寄与がありました。一方で、一部子会社の業績が低調な推移となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,940,370千円（前年同期比10.2%増）、営業損失は△23,401千円（前年同期は△2,189千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により前期末比321,131千円減の5,589,330千円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前期末比287,342千円減の3,626,613千円となり、自己資本比率は64.9%となりました。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が△318,520千円（前年同期は76,017千円の税金等調整前四半期純利益）となり、売上債権の増減額478,039千円、たな卸資産の増減額△292,789千円、法人税等の支払額△71,713千円等により、当第2四半期連結会計期間末には2,348,815千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ194,755千円減となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は△107,684千円（前年同期は230,297千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失△318,520千円、売上債権の増減額478,039千円、たな卸資産の増減額△292,789千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は△14,939千円（前年同期は△165,011千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△12,752千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は△72,130千円（前年同期は△99,938千円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額△45,454千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月13日付の「2019年3月期 決算短信」にて公表しました内容を修正致しました。詳細につきましては、本日公表の「営業損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,543,570	2,348,815
受取手形及び売掛金	1,547,362	1,069,323
商品及び製品	28,964	25,932
仕掛品	126,005	419,335
原材料及び貯蔵品	16,654	19,145
その他	82,290	77,041
貸倒引当金	△1,140	△866
流動資産合計	4,343,708	3,958,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	425,656	425,656
減価償却累計額	△282,523	△287,549
建物及び構築物(純額)	143,133	138,107
土地	107,273	107,273
リース資産	17,030	5,640
減価償却累計額	△12,766	△2,335
リース資産(純額)	4,264	3,304
建設仮勘定	—	1,479
その他	270,306	281,962
減価償却累計額	△228,940	△233,543
その他(純額)	41,366	48,419
有形固定資産合計	296,038	298,584
無形固定資産		
のれん	557,172	514,346
ソフトウェア	3,361	3,850
その他	7,644	7,644
無形固定資産合計	568,179	525,841
投資その他の資産		
投資有価証券	77,962	76,988
長期貸付金	1,336	1,753
繰延税金資産	325,530	428,884
その他	297,706	298,551
投資その他の資産合計	702,536	806,177
固定資産合計	1,566,753	1,630,603
資産合計	5,910,462	5,589,330

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,682	38,291
1年内返済予定の長期借入金	25,011	—
リース債務	3,330	3,330
未払金	617,319	522,551
未払法人税等	93,723	42,233
賞与引当金	164,190	189,890
受注損失引当金	203,304	458,614
受託契約関連損失引当金	58,177	—
役員退職慰労引当金	15,490	—
その他	248,339	180,232
流動負債合計	1,472,567	1,435,142
固定負債		
リース債務	6,917	5,252
繰延税金負債	7,154	5,926
役員退職慰労引当金	40,480	43,056
退職給付に係る負債	459,972	463,211
資産除去債務	2,953	2,953
その他	6,460	7,173
固定負債合計	523,938	527,573
負債合計	1,996,505	1,962,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	3,457,056	3,171,484
自己株式	△198,105	△198,105
株主資本合計	3,886,039	3,600,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,118	12,367
退職給付に係る調整累計額	14,798	13,778
その他の包括利益累計額合計	27,916	26,146
純資産合計	3,913,956	3,626,613
負債純資産合計	5,910,462	5,589,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,284,624	3,990,407
売上原価	3,473,788	3,601,819
売上総利益	810,836	388,588
販売費及び一般管理費	744,392	722,593
営業利益又は営業損失(△)	66,444	△334,005
営業外収益		
受取利息	40	8
受取配当金	2,068	1,838
助成金収入	7,961	1,770
受取保険金	—	10,000
その他	684	2,178
営業外収益合計	10,754	15,795
営業外費用		
支払利息	315	14
営業外費用合計	315	14
経常利益又は経常損失(△)	76,883	△318,224
特別損失		
固定資産除却損	562	—
減損損失	303	296
特別損失合計	866	296
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	76,017	△318,520
法人税等	55,522	△78,402
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,494	△240,117
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	20,494	△240,117

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20,494	△240,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,790	△751
退職給付に係る調整額	△574	△1,019
その他の包括利益合計	△9,364	△1,770
四半期包括利益	11,130	△241,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,130	△241,888
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	76,017	△318,520
減価償却費	9,305	10,950
のれん償却額	33,794	42,826
減損損失	303	296
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,311	25,700
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,478	△12,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△85	△273
受注損失引当金の増減額(△は減少)	6,500	255,309
受託契約関連損失引当金の増減額(△は減少)	—	△58,177
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,540	1,770
受取利息及び受取配当金	△2,108	△1,847
支払利息	315	14
売上債権の増減額(△は増加)	387,007	478,039
未払金の増減額(△は減少)	△55,065	△96,156
たな卸資産の増減額(△は増加)	△231,073	△292,789
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,686	△5,391
その他	53,488	△66,642
小計	295,042	△37,803
利息及び配当金の受取額	1,948	1,847
利息の支払額	△315	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△66,377	△71,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,297	△107,684
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,485	△12,752
無形固定資産の取得による支出	—	△300
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,055
敷金及び保証金の回収による収入	—	861
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△149,772	—
その他	1,246	△693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,011	△14,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△49,998	△25,011
自己株式の取得による支出	△95	—
配当金の支払額	△45,456	△45,454
その他	△4,388	△1,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,938	△72,130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,652	△194,755
現金及び現金同等物の期首残高	2,526,985	2,543,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,492,333	2,348,815

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対す る売上高	2,524,108	1,760,515	4,284,624	—	4,284,624
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,524,108	1,760,515	4,284,624	—	4,284,624
セグメント利益又 は損失(△)	68,633	△2,189	66,444	—	66,444

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「アウトソーシング」セグメントにおいて当第2四半期連結会計期間より株式会社フォーの株式取得による連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は133,031千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対す る売上高	2,050,036	1,940,370	3,990,407	—	3,990,407
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,050,036	1,940,370	3,990,407	—	3,990,407
セグメント損失 (△)	△310,603	△23,401	△334,005	—	△334,005

(注) セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。